

## 海外事情 11月27日号

- 加オンタリオ州、020 を規制
- 航空会社、付帯収入増へ施策
- シートリップが米企業買収
- 航空各社、OTA 契約見直し
- AF/KLM も GDS サーチャージ

以上は、トラベルジャーナル 11月27日号を参照ください。

### ➤ 中国民泊市場トップ少猪

Airbnb の中国におけるライバル企業である Xiaozhu (小猪) が、1 億 2,000 万ドルの資金を調達した。この資金調達は 10 年設立の Yunfeng Capital がリード投資家となり、既存投資家の Joy Capital, Morningside Ventures, Capital Today が参加した。もう 1 社のライバル企業である Tujia (途家) は、親会社の Ctrip に支援されて先月 3 億ドルの資金調達を実施したばかり。5 年前に創立した Xiaozhu の累計調達額は約 2 億 7,000 万ドルとなり、中国ホームシェアリング市場のシェアとサービスシステムとその他の領域で間違いなくトップ企業となっている。中国ホームシェアリング市場は、地元をよく知り尽くした企業のみが成功すると Xiazhou は言っている。(TN 11/01 <https://goo.gl/DDmRCw>)

### ➤ グーグル、ITA の API 切断

グーグルが、11月1日、航空運賃データ自動供給システムの ITA QPX Express API に対する第三者アクセスを来年 4 月から遮断すると発表した。このデータフィードは、現在 Orbitz や UA や ANA を含む大手の OTA や航空会社で使用されているもので、Google が 11 年に 7 億ドルで ITA を買収した際に、司法省から競争環境を悪化させないために買収後 5 年間は買収時のシステム利用者のアクセスを維持することを義務付けられていた。来年 4 月が、ちょうどその 5 年間の遮断禁止期間が終了する時となる。Google が Expedia や Priceline の主要ブランドと競合する自社の航空便検索ツールを拡大しているので、今回の遮断は予期されていたもので、大手は既に Google 依存を回避している。しかしながら、小規模な新興企業に対しては大きな影響を与えることになるだろう。(mashable.com 11/02 <https://goo.gl/xzscg2>)

### ➤ ゲットヨアガイド、\$75 M 増資

GetYorGuide が、7,500 万ドルの第 4 回目となる資金調達をした。新たな投資家である Battery Venture がこの資金調達をリードした。既存投資家の KKR, Spark Capital, Highland Europe, Sunstone Capital, Nokia Growth Partners もこのラウンドに参加した。調達した資金は、パーソナライズドした旅の提案をするための AI とマシンラーニングの開発費用に充当される。10 年設立の GYG は、最近、累計 1000 万枚のチケットを販売し、17 年だけでほとんどその半分を売り上げている。ツアー&アクティビティ市場規模は、1 億 3,500 万ドルと見積もられ、20 年には 1 億 8,300 万ドル以上に達するだろう。T&A 市場が投資家たちの注目の的になっている。1 週間前には、アジアの Klook が 6,000 万ドルの資金を調達した。コンソリデーションも起きている。今週、Ctrip が Trip.com を買収した。(TN 11/02 <https://goo.gl/RM8ewS>)

### ➤ エアビー、ウィンダム買収に興味

Airbnb が Wyndham Europe Rental (WER) の買収に興味を示している。10 億ドル以上と言われている WER の買収の入札期限は今月末まで、プライベートエクイティ企業と並んで Airbnb は、入札希望者グループに早い段階から名を連ねている。関係者の話によれば、Airbnb は他の買収希望者たちが編成する買収団に参加する可能性もなしとしない。WER が保有するダルマチア、クロアチア、ギリシャなどの欧州の高級休暇都市における数万軒の施設在庫を Airbnb が確保できれば、Expedia や Priceline Group に対する富裕層の顧客争奪戦で有利となることができるだろう。Airbnb は、今年 2 月に、カリブでハイエンドの別荘レンタルとコンシェルジュサービスの Luxury Retreats (モントリオール本社) を買収している。(BloombergTechnology, 11/04 <https://goo.gl/JH3Tx2>)

### ➤ ドリームホテルの電子化

Dream Hotel Group が、同グループのアップスケールホテル Time Nyack で、ボイスサービスの Amazon の Alexa のベータテストを開始した。この年末までの試験結果が良好であれば、Dream は、グループのその他のホテルブランドにも導入する計画だ。Dream は、同種のボイステクノロジーの Google Home's と Apple についても大いに注目している。3 社のテクノロジーは、資本や性能的に

ほとんど同じであるが、ボイステクノロジーでは大きな違いが存在すると見ている。Amazonは、Amazon Echoにより誰よりも早く市場に参入したツールで、E コマースと Amazon エコシステムを対象としているのに対して、Google Homeは自身のプラットフォームの中で検索エンジンに統合されている。Appleがどのようなものとなるかは未だ良く分かっていない。Alexaは主として家庭用であるため、宿泊客に対して有効なツールとなり得るのか？ホスピタリティーの営業環境でセキュリティが確保されるのか？を、Dreamはこの機器の試験運用を通じて調査することとなる。音楽を聞くだけなのか、最悪コンセントを外されてしまうのかも調査対象となるのは勿論だ。すでに Time Nyack の試験では、バーチャル執事として役立っていることが立証されている。タオルの追加、目覚まし電話、ルームサービスの配達とかが Alexa 経由で効率的にサービスされており、TripAdvisor のレビューの高評価にも繋がっている。

Dream では 15 年から、ホテルスタッフと宿泊客が SMS できるクラウドベース・プラットフォーム Alice を導入している。Alexa と Alice で Dream のワンツーワンの宿泊客のリアルタイムのサービスを向上させる戦略だ。(TN 11/06 <https://goo.gl/uzmeSp>)

+++++      +++++      +++++